取扱説明書

K760 Cut-n-Break



Japanese

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

シンボルマークの説明

本機に表記されるシンボルマーク

警告!本機の使用には危険が伴います。不注意または不適切な使用をすると、使用者や周りの人が重傷や致命傷を負う危険性があります。



本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



防護装備を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。



警告!切断の際には粉塵が発生し、人体に吸い込まれると危険です。適切な呼吸マスクをご使用ください。ガソリンの蒸気や排気を吸い込まないように注意してください。必ず換気を十分に行ってください。



警告!キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。本機を使用する前に、本書の説明をよく読み、理解してください。

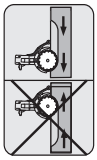


警告!カッティングブレードから発生する火花から可燃物（ガソリン、木、枯草など）に引火す可能性があります。

水冷却を必ず使用してください。



必ず正しい方向に切削して下さい。詳細は、「操作」を参照してください。



ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



円形鋸ブレードは使用しないでください。



チョーク



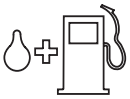
エアパージ



減圧バルブ



給油



この製品はEC規格適合製品です。



環境に対する騒音レベルはEC指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



製品に付いている他のシンボル／銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

警告レベルの説明

警告は3つのレベルで構成されます。

警告!

警告!避けることができない場合、死亡したり重傷を負う可能性のある危険な状況を表します。

注記!

注記!避けることができない場合、軽中度の負傷を負う可能性のある危険な状況を表します。

注意!

注意!は人身事故に関係がない取り扱いについて使用しています。

目次

シンボルマークの説明
取扱説明書のバージョンについて 2
本機に表記されるシンボルマーク 2
警告レベルの説明 2
目次
目次 3
概要
お客様へ 4
設計および機能 4
各部名称
刈払機の各部名称 - K760カット・アンド・ブレーク ... 5
本機の安全装置
はじめに 6
カッティングブレード
はじめに 8
さまざまな素材に対応するダイアモンドブレード ... 8
水冷却 8
ダイアモンドブレードの研ぎ方 8
搬送と保管 8
燃料の取り扱い
はじめに 9
燃料 9
給油 10
搬送と保管 10
操作
防護装備 11
安全に関する予備知識 11
搬送と保管 15
始動と停止
始動前に 16
始動 16
停止 18
メンテナンス
はじめに 19
メンテナンスのスケジュール 19
清掃 20
機能検査 20
主要諸元
主要諸元 25
切断装置 25
EC適合性宣言 26

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。弊社製品のご購入後は、弊社技術員による修理ならびに整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄りのサービスショップの所在地をお問い合わせください。

本取扱説明書は大切な書類です。作業場所に置いて、いつでも利用できるようにしてください。説明書の記載内容（使用方法、サービス、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を転売する場合は、必ず取扱説明書を同梱してください。

300年以上も続けられているイノベーション

ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王であるカール11世がマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた1689年に遡ります。その時代、ハスクバーナは、猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、ミシン、アウトドア製品などの分野で世界をリードするプロダクトを開発。それらの開発を支える技術的スキルを背景に、企業の礎がすでに築かれています。

ハスクバーナは、森林や公園のメンテナンス、芝生や庭の管理向けアウトドア用パワープロダクト、さらには、建設および石材産業向け切断装置やダイアモンド工具などのグローバル・リーダーです。

オーナーの責任

本機を安全に使用するための十分な知識を使用者に持たせることは、オーナーあるいは雇用者の責任です。監督者や使用者は、取扱説明書を読んで、それを理解する必要があります。使用者は以下の点を確認する必要があります。

- 本機の安全に関する説明事項。
- 本機の用途の範囲や使用限度について。
- 本機の使用方法とメンテナンス方法について。

本機の使用においては、国内法による規制が課せられる場合があります。本機を使用して作業を開始する前に、作業区域に適用される法律についてご確認ください。

メーカーからお客様へ

この取扱説明書の発行後、ハスクバーナ社は製品の安全な操作のための追加情報を発表する場合があります。最も安全な操作方法の最新情報を確認するのは、オーナーの義務です。

ハスクバーナは継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

ご質問やご要望がある場合は、弊社のウェブサイト（www.husqvarnacp.com）からお問い合わせください。

設計および機能

本機は石や鉄筋コンクリートなどの硬い物質を切断することを目的にした高速のハンドヘルドの刈払機です。この取扱説明書に記載されていない目的には使用しないでください。この製品を安全に操作するため、作業者はこの取扱説明書を注意深く読む必要があります。さらに情報が必要な場合は、販売店またはハスクバーナにご相談ください。

当社製品のユニークな機能を以下に示します。

Active Air Filtration™

遠心分離式空気浄化機能により、長期間のサービス寿命とサービスインターバルを実現。

SmartCarb™

内蔵自動フィルター補正機能により、ハイパワーを維持し、燃料消費を削減。

Dura Starter™

防塵スターターユニットです。密閉された内部にリターンスプリングとプーリーベアリングがあり、これによりスターターが実質的にメンテナンス不要になり、信頼性も高まります。

X-Torq®

X-Torq®エンジンは、広範囲のスピードに対して最適なトルクを提供し、最大限の切断能力を実現します。X-Torq®は、燃料消費を最大20%、排出ガスを最大60%削減します。

EasyStart

迅速で簡単なマシン始動ができるようエンジンとスターターが設計されています。スターターロープの引っ張り抵抗が40%減少しています。（始動時の圧縮を減少）

エアパージ

エアパージダイアフラムを押すと、燃料はキャブレターへ送られます。エンジンは、スターターを数回引くことで簡単に始動できます。

DEX

低フラッシング湿式切断キットによる効果的な塵埃処理

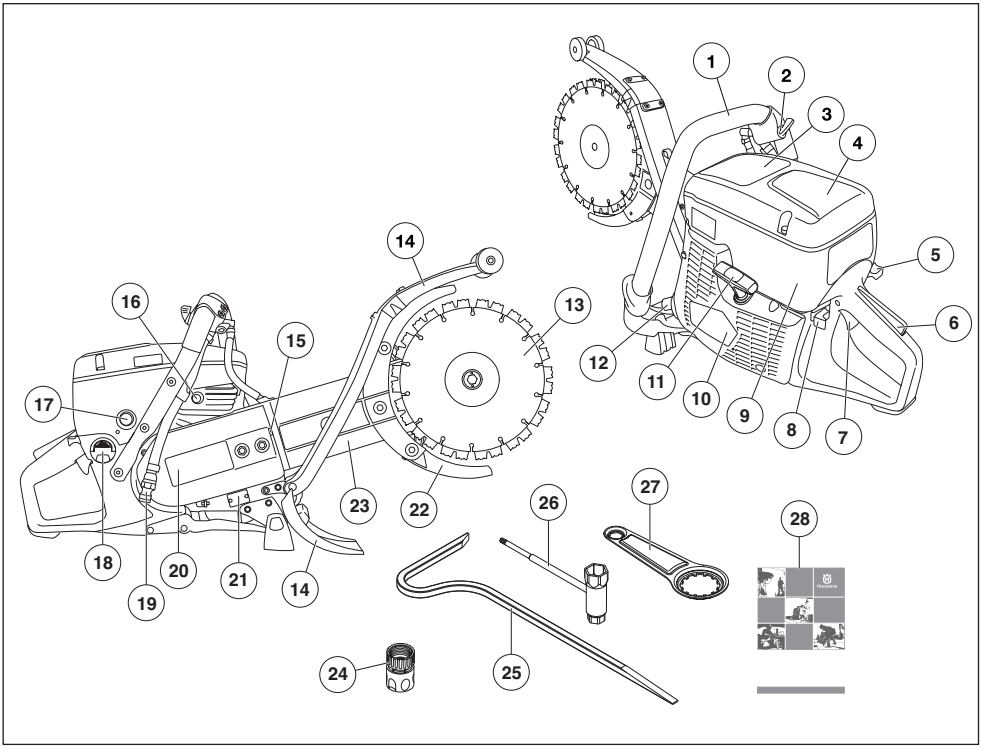
効率的な防振装置

効率的な防振装置により、腕や手に加わる振動を軽減されます。

特別に開発された、特許取得済みダイアモンドブレード

本機は、特別に開発された、特許取得済みダイアモンドブレードを装備しています。

各部名称



刈払機の各部名称 - K760カット・アンド・ブレーク

1 フロントハンドル
2 水タップ
3 警告シール
4 エアフィルターカバー
5 スタートスロットルロック付きチョークコントロール
6 スロットルロック
7 スロットルトリガー
8 停止スイッチ
9 シリンダーカバー
10 スターター
11 スターターハンドル
12 マフラー
13 ブレード
14 スプレーガード
15 ベルトテンションねじ
16 減圧バルブ
17 エアパージ
18 燃料キャップ
19 フィルター付き給水接続部
20 クラッチカバー
21 規格プレート
22 ブレードガード
23 カッティングアーム
24 水コネクター、GARDENA®
25 破壊用工具
26 コンビレンチ、トルクス
27 ベアリング工具
28 取扱説明書

本機の安全装置

はじめに

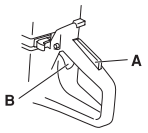
警告!安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。お持ちの機械が点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービスショップに修理を依頼してください。

停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

この項では、本機の安全装置とその目的、本機の正しい動作を確保するための検査とメンテナンスの方法について説明します。

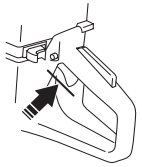
スロットルロック

スロットルトリガーロックはスロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック(A)を押すと、スロットル(B)が解除されます。

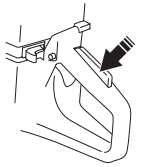


スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンスプリングシステムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドリング状態でロックされることを意味します。

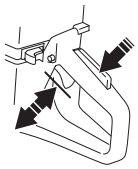
スロットルロックの検査



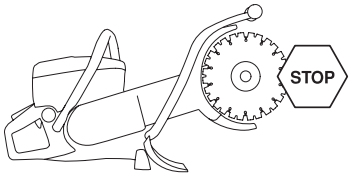
- スロットルロックを放したとき、スロットルコントロールがアイドリングの設定になっていることを確認します。



- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能していることを点検します。

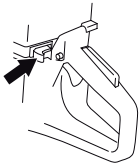


- 刈払機を始動し、フルスロットルにします。スロットルコントロールを放せばカッティングブレードの走行が停止し、静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらずカッティングブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。



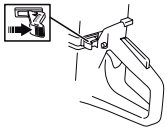
停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。



停止スイッチの検査

- エンジンを始動し、停止スイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。

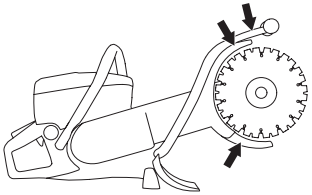


本機の安全装置

ブレードガード／スプレーガード

警告!本機を始動する前は必ず、ブレードガードが正しく装着されていることを確認してください。

これらのガードはブレードの上下に装着され、ブレードの破片や切断された素材が作業者に飛んでくるのを防ぎ、作業者がカッティングブレードに触れる危険性を最小限に抑えるように設計されています。



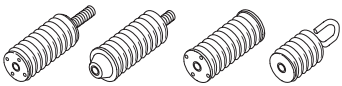
ブレードガード／スプレーガードのチェック

- ガードが損傷または破損していないことを確認します。損傷があるときは交換します。
- また、ブレードが正しく装着され、どこにも損傷がないことを確認します。損傷のあるブレードを使うと、けがをするおそれがあります。詳細は、「カッティングブレード」および「メンテナンス」を参照してください。

防振装置

警告!循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。

- 本機には防振装置がついており、振動を軽減し、操作しやすいようになっています。
- 本機の防振装置は、エンジンユニットや切断装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。切断装置を含むエンジン本体は、防振装置によってハンドルを振動から守っています。



防振装置の検査

警告!停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

- 防振装置にヒビや変形がないか、定期的に点検します。損傷がある場合、交換してください。
- 防振装置がエンジンユニットとハンドルユニットの間にしっかりと固定されていることを確認します。

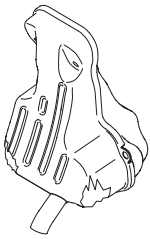
マフラー

警告!マフラー無しの製品や欠陥のあるマフラーを装着した製品は決して使用しないでください。マフラーに損傷があると騒音レベルや火災の危険性が高くなります。消火装置をお近くに用意しておいてください。

マフラーは使用中および使用直後、そしてアイドリング時に非常に熱くなります。特に可燃物や可燃性ガスの近くで作業をするときは、火災の危険性に注意してください。

消火装置をお近くに用意しておいてください。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。



マフラーの点検

マフラーが完全に正常で、正しく固定されていることを定期的に確認します。

カッティングブレード

はじめに

警告!カッティングブレードが壊れて、作業者がけがをすることがあります。

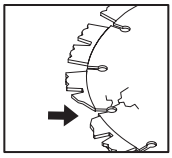
カッティングブレードは、刈払機に取り付ける前に確認し、使用中にも頻繁に確認する必要があります。ヒビ、切片（ダイアモンドブレード）の欠損、または破損した部品がないか調べてください。損傷のあるカッティングブレードは使用しないでください。

カッティングブレードを新品と交換した場合は、約1分間フルスロットルで運転して、問題がないことをテストしてください。

ハスクバーナによって本機用に設計された純正のカッティングブレードのみを使用してください。

ハスクバーナは、カッティングブレードの使用と正しい手入れに関する警告と推奨事項を公表しています。これらの警告はカッティングブレードに同梱されています。ハスクバーナが提供するすべての指示書を読み、順守してください。

- 本機は、カット・アンド・ブレーク向けにハスクバーナで特別に開発された、ダイアモンドブレードを装着した状態でのみ使用することができます。ブレードにはベルトプーリーが組み込まれており、フリーハンドでの切断が可能です。
- ダイアモンドブレードは、工業用ダイアモンドを含む切片が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。
- 必ず鋭利なダイアモンドブレードをお使いください。
- ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。必要に応じてブレードを交換します。



さまざまな素材に対応するダイアモンドブレード

警告!カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。

プラスチック材の切断にダイアモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

- ダイアモンドブレードは石材や鉄筋コンクリートの切断に適しています。製品の正しい選択については、販売店にご相談ください。
- ダイアモンドブレードは、さまざまな硬さの種類が提供されています。「ソフト」なダイアモンドブレードは、使用期間が比較的短く、切断能力が高めに設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用します。「ハード」なダイアモンドブレードは、使用期間が長く、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用します。

水冷却

警告!湿式切断用のダイアモンドブレードは、水によって継続的に冷却してください。これによって、過熱を防止し、ダイアモンドブレードの破損による本機への損傷や、作業者のけがを防ぐことができます。

- 水冷却を必ず使用してください。
- 水なしで湿式カッティングブレードを使用すると、過度の発熱が起こり、性能の低下やブレードの激しい損傷の原因となり、危険です。
- 水冷却はブレードの寿命を長くし、同時にほこりの堆積を減少させます。



ダイアモンドブレードの研ぎ方

ダイアモンドブレードは、フィード時に間違った圧力をかけたり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断すると、鋭さが失われます。鈍くなったダイアモンドブレードで作業をすると、ブレードの過熱を発生させ、ダイアモンド切片の緩みを招くことがあります。

砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

搬送と保管

- 搬送時や保管時には、機器をしっかりと固定し、カッティングブレードを適切に保護してください。
- 使用前には、すべてのブレードについて、搬送や保管による損傷がないか点検してください。

燃料の取り扱い

はじめに

警告!狭い場所や換気の悪い場所でエンジンをかけると窒息死や一酸化炭素中毒の原因となることがあります。1メートル以上の深い溝や堀などで作業する場合、ファンを使用して適切な換気を確保してください。

燃料や燃料ガスは、非常に可燃性が高く、人間が吸いこんだり、皮膚に付けたりすると深刻な傷害を引き起こすおそれがあります。このため、燃料の取り扱いには細心の注意を払い、十分な換気を確保するようにしてください。

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となり得ます。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください!

燃料付近では、喫煙したり、熱い物体を置いたりしないでください。

燃料

注意!本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクルエンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

ガソリン

- 良質の無鉛または有鉛ガソリンを使用してください。
- 推奨される最低オクタン価は90(RON)です。オクタン価が90未満のガソリンを使用すると、ノッキングの原因となります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながることがあります。
- 高回転を継続させて作業する場合、オクタン価の高いガソリンを推奨します。

環境に優しい燃料

エコ燃料(アルキレート燃料)や、4サイクルエンジン用のエコ燃料に2サイクルエンジンオイルを下表のとおり混合したものの使用を推奨します。

エタノールを混合した燃料、E10が使用できます(エタノールの混合率最大10%)。E10を超えたエタノール混合燃料の使用は動作条件を劣化させて、エンジンの損傷を引き起こします。

2サイクルエンジンオイル

- 最良の効果を得るには、ハスクバーナ2サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式2サイクルエンジン用として特別に調合されています。
- アウトボードオイル(TCW)とも呼ばれる水冷エンジン用の2サイクルエンジンオイルは絶対に使用しないでください。
- 4サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、必ず清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次にオイルの全量を入れます。燃料の混合物を良く混ぜ(振り)ます。最後に残りのガソリンを加えます。
- 本機の燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ(振り)ます。
- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

混合比

- ハスクバーナ2サイクルオイルまたは同等のものを使用の場合1:50(2%)

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル
	2%(1:50)
5	0,10
10	0,20
15	0,30
20	0,40

- 空冷2サイクルエンジン用に調合されたオイルクラスJASO FBまたはISO EGB、またはオイル製造者の推奨に従って混合したものを使用する場合1:33(3%)

燃料の取り扱い

給油

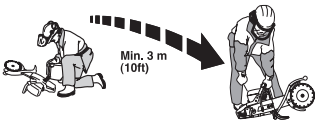
警告!給油をする前には、必ずエンジンを止めて数分間温度が下がるのを待ってください。停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

燃料キャップの周囲をきれいにしてください。

給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。キャップがしっかりしまっていない場合、キャップが振動で緩くなり、燃料が燃料タンクからもれて火災が発生するおそれがあります。

給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。



下記の条件では、決して本機を始動しないでください。

- 本機に燃料やエンジンオイルをこぼしたとき。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
- 皮膚や衣服に燃料をこぼしたときはまず着替えます。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
- 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- 燃料充填後に燃料キャップをしっかり締めていない場合。

搬送と保管

- 刈払機と燃料は、電気機器、電気モーター、リレー／スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。

長期保管

- 刈払機を長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。

防護装備

はじめに

- 事故のときに、助けを求めることができない状況で、刈払機を使用しないでください。

使用者の防護装備

本機を使用するときは、承認を受けた防護装備を必ず着用してください。防護装備で負傷の危険性をなくすことができるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合でも、負傷の程度を軽減できます。適切な防護装備の選択については、販売店にご相談ください。

警告!材料の切断、粉砕、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。加工する材料の性質を確認して、適切な呼吸マスクを使用してください。

長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。エンジンが停止したら、速やかにイヤマフを外してください。

必ず以下のものを着用してください。

- 承認された保護ヘルメット
- イヤマフ
- 承認された保護メガネ。防護マスクを使用する場合、認可された防護ゴーグルも着用する必要があります。認可された防護ゴーグルは、米国のANSI Z87.1またはEU諸国のEN 166規格に適合している必要があります。バイザーは、EN 1731規格に適合しなければなりません。
- 呼吸マスク
- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋
- 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装 で作業してください。切断の際には火花が発生し、衣服に着火することがあります。防火綿または厚地のデニムを着ることを推奨します。ナイロン、ポリエステル、レーヨンなどの材質の衣服は着用しないでください。このような材質が発火した場合、溶けて肌にはりつく場合があります。短パンは着用しないでください。
- つま先部スチール製、ノンスリップ靴底の防護靴

その他の保護装置

注記!本機での作業中、火花や飛び、火災が発生することがあります。必ず消火装置をお手元に装備してください。

- 消火器
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。

安全に関する予備知識

この項では、本機の使用に際しての基本的な安全注意事項について説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に代わるものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。作業者が初めて使用する場合、使用前に実践的な指示も受けることを推奨します。
- 周囲の人やその財産をさまざまな事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。
- 本機は清潔にしておく必要があります。目印やステッカーは、完全に判読できなければなりません。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に適った使用方法で操作してください。安全でないと感じる事態になったら、作業を停止し、熟知した人のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービスショップや熟練ユーザーなどに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください。

警告!本機の使用には危険が伴います。不注意または不適切な使用をすると、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。

子供や本機の扱いに不慣れな人間に本機を使用させないようにしてください。

本取扱説明書の内容を読んで、理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用したときは、絶対に本機を使用しないでください。

警告!認定されていない改造や付属品の使用は、使用者や周囲の人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機の設計に変更を加えないでください。

本製品を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

欠陥のある製品は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

必ず純正部品をお使いください。

警告!本機では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、場合によって能動的あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。重傷または致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントの利用者は、本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することを推奨します。

水冷却

水冷却を必ず使用してください。これによって、ブレードを冷却し、寿命を延ばし、ほこりが蓄積することを防止します。水流を減少させるために、ウォーターホース用のリストリクターがあります。

注意!ベルトがはずれることがあるため、スロットルなしで非常に高圧の水を使用しないことが大切です。

作業エリアの安全

警告!刈払機の安全距離は15メートルです。使用者は、動物や傍観者が、作業エリアにいないことを確認する責任を負っています。切断は、作業エリアに問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

- 周囲の状況をチェックして、本機の使用に影響があるものを除去してください。
- 人間や物体が切断装置に接触しないこと、さらに、切断中に飛び散る物体にぶつからないことを確認してください。
- 濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、足下がすべりやすくなるなど危険です。
- 作業エリア に余分なものがあるときや、安定した足場がないときには、本機を使用しないでください。邪魔なものが予期せずに移動してぶつかることがないように、注意を払ってください。切断時は、物が崩れたり、落下したりして、作業者がけがをしないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。
- 作業エリアには十分な照明が当てられており、安全な作業環境であることを確認します。
- 配管や電気ケーブルが、作業エリアや切断する材料を通っていないことを確認してください。
- 容器（ドラム、パイプなど）を切断するときは、最初に、可燃性の物質や揮発性の物質が入っていないことを必ず確認してください。

基本的な作業方法

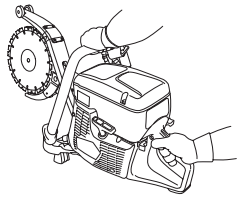
警告!垂直方向に切削する場合、必ず上から下へ切削してください。下から上へは切削しないでください。これにより、キックバックが発生し、けがをすることがあります。

警告!刈払機を片側に引っ張らないでください。ブレードがロックしたり破損してけがをするおそれがあります。

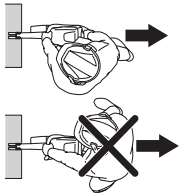
プラスチック材の切断にダイアモンドブレードは決して使用しないでください。切断中に熱が発生してプラスチックが溶け、カッティングブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

金属の切断は、火災の原因となる火花を発生させます。引火しやすい物質やガスの近くで本機を使用しないでください。

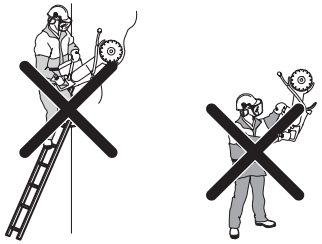
- 本機は、カット・アンド・ブレーク向けにハスクバーナで特別に開発された、ダイアモンドブレードを装着した状態でのみ使用することができます。ブレードにはベルトプーリーが組み込まれており、フリーハンドでの切断が可能です。本機に他の種類のブレードを装着しないでください。また、用途外の切断には使用しないでください。
- カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷がないことを確認します。詳細は、「カッティングブレード」および「メンテナンス」を参照してください。
- 対象となる用途に対して、適切なカッティングブレードが使用されていることを確認します。詳細は、「カッティングブレード」を参照してください。
- アスベスト材は切断しないでください!
- 刈払機を両手で持ち、親指と他の指で取り囲むようにしっかりハンドルを握ります。右手でリヤハンドル、左手でフロントハンドルを握ってください。右利き、左利きにかかわらず、必ずこの握り方をしてください。刈払機を片手だけで操作することは厳禁です。



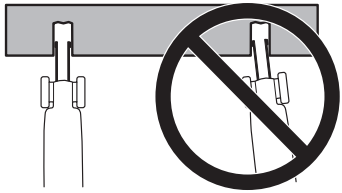
- カッティングブレードに対して並行に立ちます。真後ろに立たないようにしてください。キックバックが発生した場合、刈払機はカッティングブレードの水平面方向に動きます。



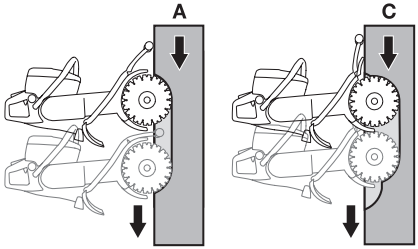
- エンジンの動作中は、ブレードから距離を保ちます。
- モーターが作動している状態で、本機から離れないでください。
- 切断装置が回転している状態で、刈払機を移動しないでください。
- ブレードのキックバックゾーンを切断のために使用しないでください。詳細は、「キックバック」を参照してください。
- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- ハシゴに乗って切断しないでください。肩より高い位置を切断する場合は、台や足場を利用してください。無理な体勢で作業しないでください。



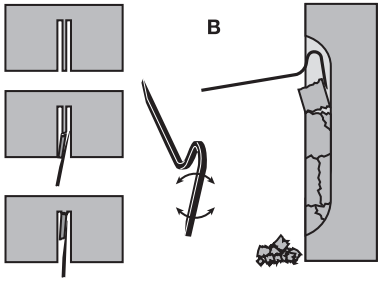
- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 刈払機を始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- カッティングブレードの回転を徐々に上げていき、高速回転（フルスロットル）にします。切断が終了するまでフル回転を維持します。
- 本機を動作させるときは、ブレードに力を込めたり、押したりしないでください。
- 切断途中のところから再開する場合は、同じ方向に切削してください。切削の幅が十分に広くて、ブレードが切削方向に対して傾いていないことを確認してください。キックバックを防ぐためです。



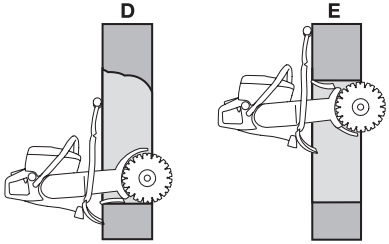
- 必ず上部から下部へ切削してください（A）。カッターを一旦はずして、切削部分に残っている材料をバールで除去してください（B）。



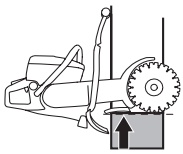
- 同様の切削を行い、さらに、加工物（Cロのような場合、バールによる除去作業も繰り返して行います。



- この作業方法を、必要な切削深度が得られるまで繰り返します（D、E）。



- ブレードガードにより、刈払機が加工物に対してどのくらいの深度で移動すればいいかを、簡単に決めることできます。



切削の開始、または切削部分の拡大

切削を開始しようとして、または切削部分をより深くしようとして材質の上部にブレードを入れるときに、短い時間ですが切削のキックバックゾーンを使用する必要があります。以下に示すルールに沿って、本機を支えてください。

- 目的の深さまで到達したら、カッティングブレードをまっすぐ奥または下に押し込みます。
- 上に向けて切削したり、上に向けてカッティングブレードを押し込んだりしないでください。このような操作を行うと、作業者の方向に本機が押し戻されるような反作用力が働き、最悪の場合はキックバックが発生する位置まで本機が押し戻される可能性があります。

粉塵の管理

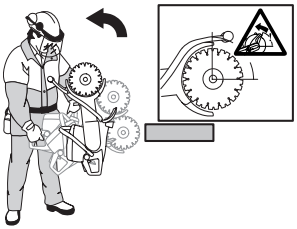
製品には、粉塵の発生を最小限に抑制する低圧流水キットである、DEX（粉塵除去器）が取り付けられています。

タップを使用して水流を調整し、切断中に生じる粉塵を締めてください。必要とされる水量は、実施している作業の種類に応じて変わります。

キックバック

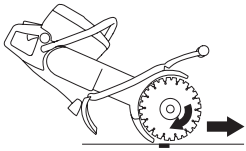
警告!キックバックは突然発生し、非常に危険な場合があります。刈払機が作業者に向かって回転しながら飛ばされて、人命にかかわる傷害を招くことさえあります。本機の使用前に、キックバックの原因と、その防ぎ方を理解することは、非常に大切です。

キックバックとは、ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりしたときに、刈払機が突然、上へ持ち上げられるような現象です。ほとんどのキックバックは小規模で、それほど危険を伴わないものです。しかしながら、キックバックは非常に危険な挙動を発生させることがあり、作業者に向かって刈払機が回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。



反作用力

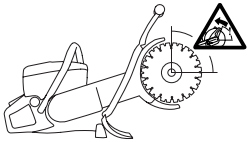
切断時、反作用力は常に存在します。この力は、ブレード回転に対して逆の方向へ製品を引っ張るように働きます。通常、この力は問題にはなりません。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、刈払機をコントロールできなくなることがあります。



切断装置が回転している状態で、刈払機を移動しないでください。ジャイロ力により、意図した動きが阻害される場合があります。

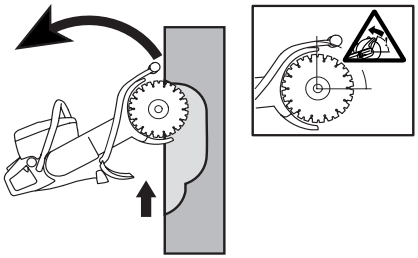
キックバックゾーン

ブレードのキックバックゾーンを切断のために使用しないでください。ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かって刈払機が回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。

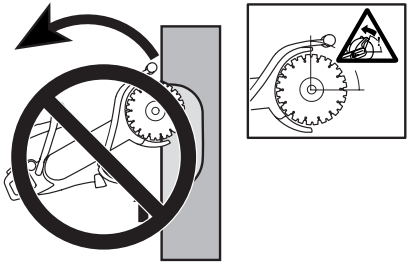


クライミングキックバック

キックバックゾーンで切断を行うと、反作用力によりブレードが切断箇所から持ち上げられます。キックバックゾーンを使用しないでください。クライミングキックバックを回避するために、ブレードの下部、四分の一を使用してください。



- 上方あるいは手前に向かって、切削しないこと。これにより、キックバックゾーンが切削に使われることになります。



ピンチングキックバック

ピンチングとは、切断部が閉じて、ブレードを挟んでしまうことです。ブレードが挟まったり、引っかかったりすると、反作用力は強力になり、刈払機をコントロールできなくなることがあります。

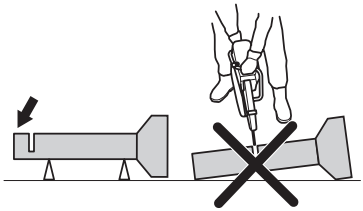


ブレードがキックバックゾーンで挟まったり、引っかかったりすると、反作用力により、作業者に向かって刈払機が回転しながら飛ばされて、人命にかかわるような事故が発生することもあります。作業対象物が移動する可能性に注意してください。作業対象物がしっかりと保持されておらず、切断時に動くと、ブレードが挟まり、キックバックの原因になる可能性があります。

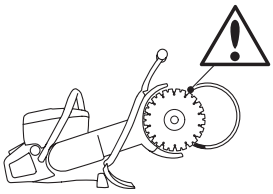
パイプ切断

パイプを切断する場合、特に注意すべきことがあります。パイプがしっかりと保持されておらず、切断時、切断部がオープン状態を維持している場合、ブレードがキックバックゾーンで挟まり、危険なキックバックが発生することがあります。先端が鐘型に広がったパイプや、トレンチに入っていてしっかりと保持されていないためにたわんでブレードが挟まる可能性のあるパイプを切断するときは、特に注意してください。

切断を開始する前に、切断中動いたり回ったりしないように、パイプをしっかり固定する必要があります。

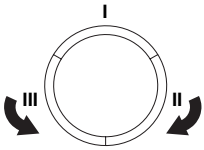


パイプがたわみ、切削部が閉じると、ブレードが挟まれ、キックバックゾーンに入り激しいキックバックが起きる可能性があります。パイプがしっかりと保持され、パイプの端が下に動けば、切断部が開き、挟まれることはありません。



パイプを切断する正しい順序

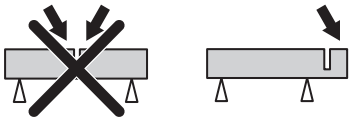
1 最初に、セクションIを切断します。
2 サイドIIに移動して、セクションIからパイプの底部まで切断します。
3 サイドIIIに移動して、底部のパイプの端部の残りの部分を切断します。



キックバックの避け方

キックバックの回避は簡単です。

- 加工物は常に保持して、切断の最後まで切断部が閉じないようにしてください。切断部が開いていれば、キックバックは発生しません。切断部が閉じて、ブレードが挟まると、常にキックバックの危険があります。



- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

搬送と保管

- 搬送の間、損傷や事故が起こらないように、機器をしっかりと固定してください。
- 燃料の輸送と保管については、「燃料の取り扱い」をご参照ください。
- 本機は子供や許可されていない人の手の届かない鍵のかかる場所に保管してください。

始動前に

警告!始動時には以下の注意点を守ってください。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

防護装備を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

ベルトまたはベルトガードが取り付けられていない状態で、本機を始動させないでください。クラッチが外れてけがをすることがあります。

燃料キャップが正しく固定されており、燃料漏れがないことを確認してください。

深刻な傷害を引き起こす危険があるので、関係者以外、作業エリアに入れないようにしてください。

- 毎日のメンテナンスを実施してください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

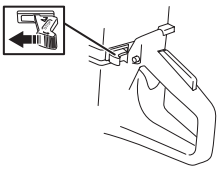
始動

警告!カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。正常に回転していることを確認してください。

冷機エンジンの場合:



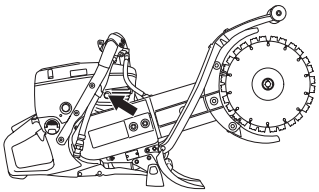
- 停止スイッチ(STOP)が、左の位置にあることを確認してください。



- チョークコントロールを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。

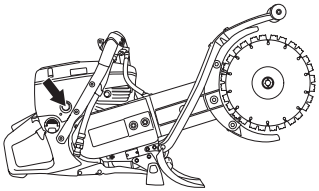


- **デコンプバルブ**:シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、刈払機の始動を助けるためのものです。デコンプバルブは、始動時には必ず使用してください。刈払機の始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。





- 燃料がダイアフラムを満たし始めるまでエアパージダイアフラムを繰り返し押します(約6回)。ダイアフラムが満杯になるまで充填する必要はありません。





- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、刈払機を地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。**





- エンジンが始動したら素早くチョークコントロールを押します。チョークが引き出され、エンジンが数秒後に停止します。(エンジンが停止した場合、スターターハンドルを再び引きます。)
- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、刈払機がアイドリング状態になります。

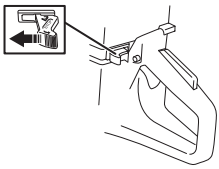
注意!抵抗を感じるまで(スターター爪が噛み合うまで)右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。刈払機が損傷を受けるおそれがあります。

常温エンジンの場合:



- 停止スイッチ(STOP)が、左の位置にあることを確認してください。



- チョークコントロールをチョーク位置に引きます。チョーク位置はまた自動スタートスロットル位置になります。



- **デコンプバルブ:**シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、刈払機の始動を助けるためのものです。デコンプバルブは、始動時には必ず使用してください。刈払機の始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



- チョークコントロールを押してチョークを無効にします。(スタートスロットル位置はそのままです。)



- 左手でフロントハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、刈払機を地面に押し付けます。エンジンが始動するまで、右手で開始ハンドルを押します。**スターターロープは絶対に手に巻き付けないでください。**



- スロットルトリガーを押してスタートスロットルを解除すると、刈払機がアイドリング状態になります。

注意!抵抗を感じるまで(スターター爪が噛み合うまで)右手でスターターロープをゆっくり引いて、抵抗を感じたら一気に強く引きます。

スターターロープをいっぱいに引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。刈払機が損傷を受けるおそれがあります。

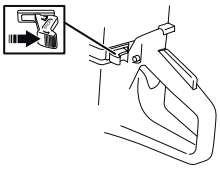
警告!エンジンの動作中、排気ガスには不燃焼の炭化水素や一酸化炭素などの化学物質が含まれています。このような排気ガスの含有物は、呼吸器障害、ガン、先天異常その他生殖障害の原因となることが知られています。

一酸化炭素は無色、無味で、排気ガスには必ず含まれています。一酸化炭素中毒の徴候は、軽度のめまいで、本人が認識できる場合も、できない場合もあります。一酸化炭素の濃度が高い場合、突然倒れ、意識を失う場合があります。一酸化炭素は無色無臭であるため、存在するかどうかわかりません。排気臭がする場合は必ず、一酸化炭素が存在します。ガソリン駆動の刈払機は、屋内、3フィート(1メーター)以上の深さの溝など、換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。溝やその他密閉された場所で作業をする場合は、必ず換気を適切に行ってください。

停止

注記!カッティングブレードは、モーターが停止した後も1分間程度回転を続けます。(ブレードコースティング)カッティングブレードは完全に停止するまで、そのまま回転させてください。不注意により、大けがをすることがあります。

- 停止スイッチ(STOP)を右に移動させることで、エンジンが停止します。



メンテナンス

はじめに

警告!使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くの認定サービスショップ（販売店）に依頼してください。

停止スイッチをSTOP位置にして、エンジンを切ってください。

防護装備を着用してください。「使用者の防護装備」の項の説明を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると、機械の寿命を縮め、事故発生の危険性が増します。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

- ハスクバーナの販売店で定期的に本機を点検し、重要な調整や修理を行ってください。

メンテナンスのスケジュール

メンテナンススケジュールにより、メンテナンスが必要な箇所と、それを実施すべき頻度が分かります。実施間隔は、本機が毎日使用されることを前提に算出されていて、使用頻度によって異なります。

毎日行うメンテナンス	**週次メンテナンス**	**月次メンテナンス**
清掃	**清掃**	**清掃**
外部清掃		スパークプラグ
吸気口の冷却		燃料タンク
機能検査	**機能検査**	**機能検査**
一般点検	防振装置*	燃料システム
スロットルロック*	マフラー*	エアフィルター
停止スイッチ*	駆動ベルト	ドライブギア、クラッチ
ブレードガード*	キャブレター	水タップ
ブレード**	スターター	

*詳細は、「製品の安全装置」を参照してください。

** 詳細は、「カッティングブレード」および「メンテナンス」を参照してください。

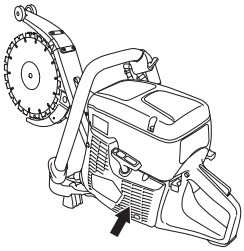
清掃

外部清掃

- 作業の終了時にはいつも、本機をきれいな水で洗浄してください。

吸気口の冷却

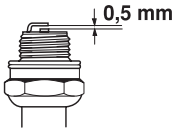
- 必要に応じて冷却用吸気口を清掃してください。



注意!吸気口が汚れたり詰まっていると、刈払機が過熱状態になり、ピストンやシリンダーに損傷を与えることになります。

スパークプラグ

- エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドリングが安定しないなどの場合は、何よりもまずスパークプラグを点検してください。
- 感電の危険を回避するために、スパークプラグキャップやイグニションリードが損傷していないことを確認してください。
- スパークプラグが汚れていたら、きれいにしてから電極ギャップが0.5 mmかどうか確認します。必要なら交換します。



注意!必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください!不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーを損傷する原因となります。

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。

- 誤った混合燃料（オイル過多または間違ったオイルの使用）
- エアフィルターの汚れ

機能検査

一般点検

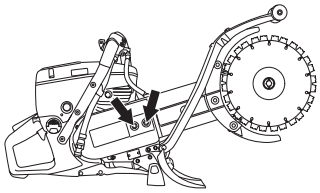
- ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。

カッティングブレード

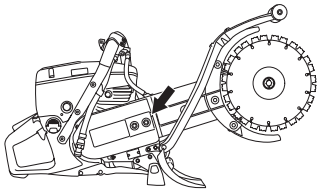
ブレードの交換

ブレードにはベルトプーリーが組み込まれた片方があり、ペアで交換します。

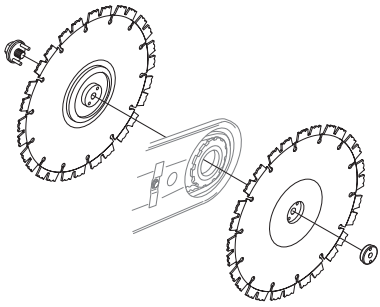
- 反時計方向に一回転させて、バーナットを緩めます。



- 反時計方向に数回、回転させて、ベルトアジャスターを締めます。

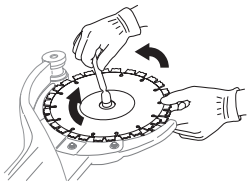


- これは、新しいブレードを取り付けた場合の最適な位置に駆動ベルトを設定するものです。**駆動ベルトは簡単に引っかかることはありません**。
- センターナットを緩めて、古いブレードを取り外します。



- 駆動ベルトの磨耗を点検します。詳細は、「駆動ベルト」を参照してください。

- カッティングアームの両側にブレードを取り付けます。駆動ベルト半分の両ガイドピン用穴の位置が揃っており、ワッシャーやナットの穴に合うことを確認します。ガイドピンを使用してボルトとワッシャーユニットを取り付けます。ブレードを留めているボルトの締め付けトルクは15Nm（130インチパウンド）です。



注意!ナットが締められている状態でブレードを回転させることは、非常に重要です。ブレード／駆動ベルトが共にナットで引っ張られた状態で、ベルトが、2枚のブレード上の組み込みベルト駆動部によって挟まれていないことを確認します。通常、ブレードが固定されるまで、締めと回転を少しずつ交互に行います。

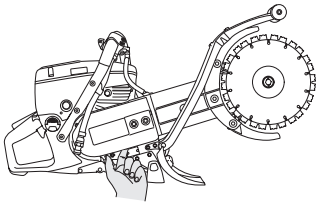
- 駆動ベルトを締めます。詳細は、「駆動ベルト 」を参照してください。

駆動ベルト

- 駆動ベルトは密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。

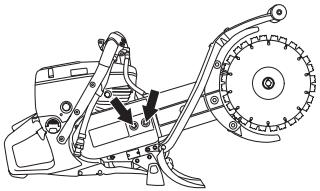
駆動ベルトの張りを検査します。

- 図のように手で触り、駆動ベルトの調整具合を点検します。正しく調整された駆動ベルトは、約5mmのあそびがあります。

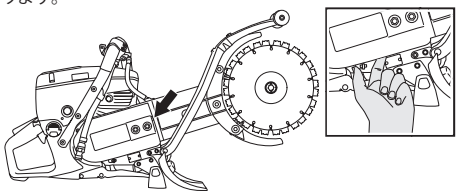


駆動ベルトの張り調整

- 新しい駆動ベルドは、燃料を1または2タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。
- 反時計方向に一回転させて、バーナットを緩めます。



- 駆動ベルトの調整具合を手で確かめながら、ベルトテンションネジを時計方向に回します。
- 正しく調整された駆動ベルトは、約5mmのあそびがあります。

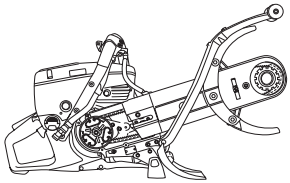


- バーナットを締めます。

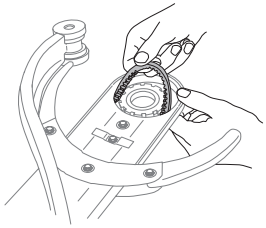
駆動ベルトの交換

警告!ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。カッティングアームまたはカッティングヘッドが取り付けられていない状態で、刈払機を始動させないでください。クラッチが外れてけがをすることがあります。

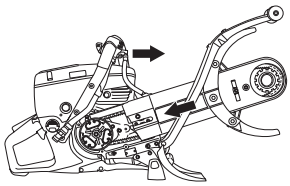
- ベルトの張りを緩めます。
- ブレードを外します。
- カバーを外します。



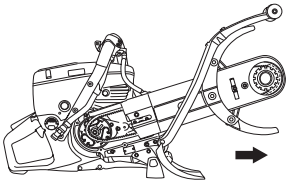
- カッティングアームのノーズから駆動ベルトを取り外します。



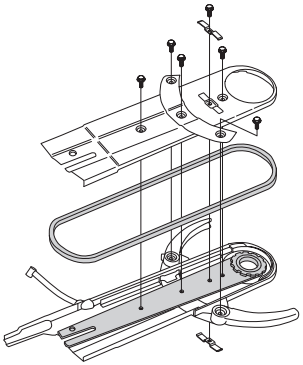
- 水ホースを緩めます。バーを後ろへスライドさせて駆動ベルトを外します。



- カッティングアームを本機から引っ張り出します。



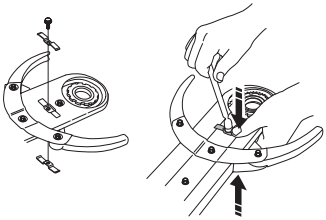
- カッティングアームにベルトカバーを固定しているネジを緩めます。



- 古い駆動ベルトを外して、新しいベルトと交換します。
- ブレードカバーをカッティングアームに固定します。

注意!バー上のねじ穴とベルトカバーの穴をそろえるようにしてください。上部カバーのエッジは、下部カバーのエッジの内側にある必要があります。

- 駆動ベルトを締めます。
- 可動リミッターは最後に取り付けます。図の通り、プレートを一緒にして、しっかりと固定します。



- ブレードを装着します。詳細は、"ブレード を参照してください。

キャブレター

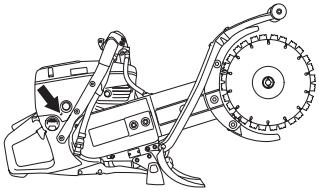
キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、燃料と空気が適切に混合されて本機に供給されるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います。

- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。効果がないときは、弊社指定のサービスショップに問い合わせてください。

アイドリング速度の調整

注記!アイドリング設定が調節できず、ブレードが動かない場合は、販売店またはサービスショップにご連絡ください。刈払機のご使用は、調整または修理が完了するまでお控えください。

- エンジンを始動し、アイドリング設定をチェックします。キャブレターが正しく設定されていると、カッティングブレードはアイドリング時に静止状態になるはずです。
- アイドリング速度の調整はTネジで行います。調整が必要なときは、ブレードが回転を開始するまで、ネジを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、ネジを反時計回りに回します。



- 推奨アイドリング速度：2700 rpm

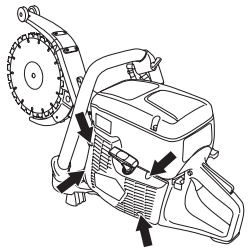
スターター

警告!リコイルスプリングは張力を持った状態でスターターハウジングに組み込まれているため、不注意に取り扱うとスプリングが飛び出してけがをすることがあります。

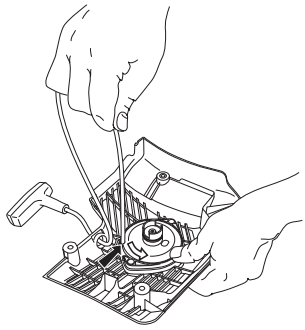
リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深く行ってください。必ず防護ゴーグルを着用してください。

切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

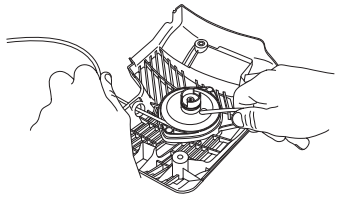
- スターターをクランクケースに固定しているネジを緩め、スターターを外します。



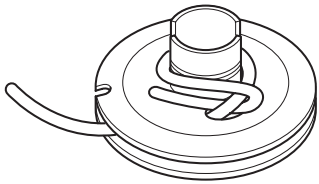
- コードを約30cm引き、スタータープーリーの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合：スプリングの張力を、プーリーをゆっくりと逆に回転させることにより、緩めます。



- 古いスターターロープの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターロープをスターターハウジングとローププーリーの穴を通して挿入します。

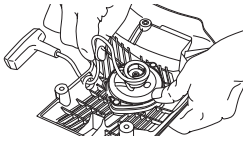


- スターターロープを、図のとおりに、ローププーリーの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターロープの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



リコイルスプリングの張り調整

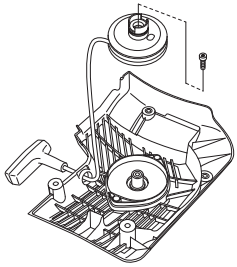
- コードを、プーリーの表面のカットアウトを通して導き、スタータープーリーの中心の周りに、コードを3回時計回りに巻きつけま□□



- 次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度、以上を繰り返しますが、今回は4回巻きます。
- スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。
- スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープーリーを緩め、プーリーが少なくとも反回転することを確認します。

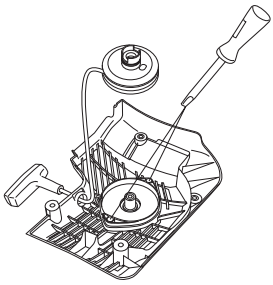
破損したリコイルスプリングの交換

- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。

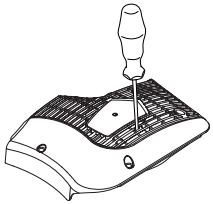


- リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることに注意してください。

- スプリングカセットを固定しているボルトを緩めます。



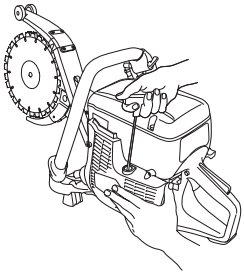
- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックを緩めることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組み立て部を保持しています。



- リコイルスプリングに薄いオイルを塗布します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引き締めます。

スターターの取り付け

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランクケースにあてがいます。次にプーリーに爪がかかるよう、スターターロープをゆっくりと戻します。



- ねじを締めます。

燃料システム

はじめに

- 燃料キャップとシール部に損傷がないことを確認します。
- 燃料ホースを点検します。損傷があるときは交換します。

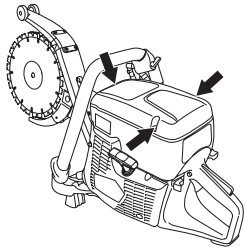
燃料フィルター

- 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないよう、保護する必要があります。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる、動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルターが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。**燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。**

エアフィルター

エンジンの力が落ちている場合、エアフィルターのみを点検する必要があります。

- ねじを緩めます。エアフィルターカバーを取り外します。

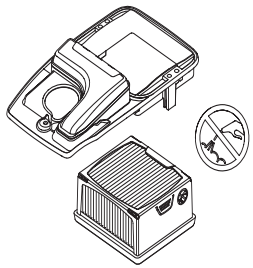


- エアフィルターを点検し、必要に応じて交換します。

エアフィルターの交換

注意!エアフィルターは、圧縮空気で掃除しないでください。フィルターを傷つけることがあります。

- ねじを緩めます。カバーを外します。



- エアフィルターを交換します。

ドライブギア、クラッチ

- クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。

水タップ

- リストリクターを点検し、必要であれば掃除します。

主要諸元

主要諸元	K760カット・アンド・ブレーク
エンジン	
排気量、cm^3	74
シリンダー内径、mm	51
ストローク、mm	36
アイドリング回転数、rpm	2700
フルスロットルー負荷なし、rpm	9300 +/- 100
出力、kW/rpm	3.7/9000 / 5.0/9000
イグニションシステム	
イグニションシステムのメーカー	SEM
イグニションシステムの型式	CD
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/ NGK BPMR 7A
電極ギャップ、mm	0.5
燃料および潤滑システム	
キャブレターのメーカー	Zama
キャブレターの型式	C3
燃料タンク容量、リットル	0.9
水冷却	
推奨水圧、バール	0.5-10

重量	
未給油時の刈払機本体（カッティングブレードを含まず）、kg	9.6
未給油時の刈払機本体（カッティングブレードを含む）、kg	11.1

騒音排出（注記1を参照）	
音響パワーレベル、測定値dB（A）	113
音響パワーレベル、L_{WA} dB（A）により保証	115
音量レベル（注記2参照）	
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB（A）	101
等価振動レベル、a_{hveq}（注記3を参照）	
フロントハンドル、m/s^2	1.9
リヤハンドル、m/s^2	2.8

注記1：環境における騒音排出は、EC指令2000/14/ECに従って、音響パワー（L_{WA}）として測定しました。保証音響と計測音響の違いは、保証音響に計測結果のばらつきと、同じモデルの異なる刈払機間の変動が含まれているためです。これは指令2000/14/ECに則っています。
注記2：等価騒音レベルはEN ISO 19432に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。報告データによれば、ブロワーの等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は1dB（A）です。
注記3：等価振動レベルはEN ISO 19432に則し、さまざまな作動状態における振動レベルの時間加重エネルギーとして計算しています。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は$1m/s^2$です。

カッティング装置

カッティングブレード	最大切断深度、mm	最大周速、m/s	出力シャフト最高回転、rpm
9インチ（230 mm）	400	80	5900

主要諸元

EC適合性宣言

（ヨーロッパにのみ適用）

ハスクバーナ（SE-561 82 Huskvarna、スウェーデン、電話：+46-36-146500）は、2016年のシリアル番号以降（年は銘板にシリアル番号の前に明記）の**Husqvarna K760**カット・アンド・ブレークが、以下の評議会指令の規格に適合することを単独責任のもとで宣言します。

- 2006年5月17日付「機械類に関する」**2006/42/EC**。
- 2014 年 2 月 26 日付「電磁環境適合性に関する」**2014/30/EU** 。
- 2000年5月8日付「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**。付録Vに従った適合性評価。

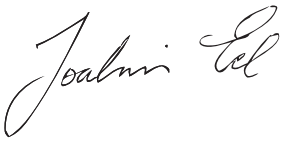
騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

次の標準規格にも適合しています。**EN ISO 12100:2010、ISO 14982:1998、EN ISO 19432:2012**

試験機関：0404、SMP Svensk Maskinprovning社（Box 7035、SE-750 07 Uppsala、スウェーデン）がハスクバーナ社のために、機械指令（2006/42/EC）に基づき 自主試験を実施しました。証明書の番号：SEC/13/2369

さらにSMP、Svensk Maskinprovning社（Box 7035、SE-750 07 Uppsala、スウェーデン）が、2000年5月8日付けの「環境への騒音排出に関する」評議会指令2000/14/ECの付録Vに適合することも認定しました。証明書の番号：01/169/031 -K760

Gothenburg、2016年3月30日



Joakim Ed
Global R&D Director
Construction Equipment Husqvarna AB
（ハスクバーナAB正式代表兼技術文書担当）

取扱説明書（オリジナル）

1155794-79

2016/03/11